

## 閉会中の調査報告

### 福祉教育常任委員会

開催日 平成 24 年 6 月 25 日（月） 10 : 00 ~ 13 : 55

出席者 委員全員

教育部長、教育部理事、教育部次長

教育部管理監、生涯学習課主幹

子育て支援課長



### 所管事務調査

#### ◎子育て支援事業に関する施策について（現地踏査）

#### ○親子プレイステーション（石部南まちづくりセンター）

事業の目的、実施要綱（開催日時・開催場所・子育てサポーターの配置・情報提供）および利用状況等について説明を受けた。

- ・身近なまちづくりセンターなどで、親子の居場所や交流の場、ゆったりとした気持ちで子供に関わったり向き合える場として事業をスタート
- ・子育てに関わる親の孤立化・孤独化の防止と、子育てに関わる様々なストレスからの解放や、保護者・子供同士のコミュニケーションを深める場の提供
- ・特別なプログラムは無し。事前の予約も不要。おもちゃなどを置き、自由に来て自由に遊び、帰っていただける。子育てサポーターを配置し様々な相談にも対応
- ・H16年度より事業を開始し、H23年度は親子217組、474人が利用（のべ数）

#### ○石部子育て支援センターたんぽぽはうす（にこにこ広場くまグループ）

事業の目的、施設の開放日、利用状況、子育て相談、子育て支援講座等について説明を受けた。

- ・未就園児とその保護者が対象
- ・月齢に応じたグループ化により子供に合った遊びの紹介ができる
- ・0～2歳児が多く、市の施設ということもあり安心安全が確保できている。
- ・親子と一緒に遊ぶ機会の提供により親子の関わりが深まる
- ・保育士が常勤しており、保健師・栄養士等の子育て相談も可能
- ・相談件数も増えてきつつある
- ・程良い参加人数である（定員20組だが毎回13組～16組）
- ・親子の友達づくりのきっかけの場とする
- ・リピーターが多く、また後のサークル活動につながっている

#### 委員からの意見等

2事業について関係機関で調整会議を持つようになったものの、場所と日程調整のみなので、内容に踏み込んでほしいといった意見や利用者はそれぞれ異なるのでそれぞれ特徴があるので選択肢はあったほうがよいという意見やまとめる必要があるとの意見もあった。後日、健康福祉部と教育部福祉教育常任委員会が一堂に会して意見交換の場を設けることとなった。

